

## 環境活動しポート

対象期間 2024年 5月 1日~2025年 4月30日

(エコアクション21ガイドライン2017年版準拠)



進興金属工業株式会社

発行日 2025年 9月 7日 改訂日 年 月 日

## 目 次

1.	会社概要と対象軋囲	•	•	•	•	•	•	1
	1. 会社概要 2. 認証・登録の対象範囲	•						<u>1~2</u> <u>2</u>
Π.	環境方針	•						<u>3</u>
Ш.	環境目標		•			•		<u>4</u>
IV.	環境活動計画	•						<u>4</u>
V.	環境目標 活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容		•			•		<u>5</u>
	1. 環境目標・環境活動計画の実績 2. 取組結果の評価と次年度の取組み					•		<u>5</u> <u>6∼13</u>
	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	•	•	•	•	•	•	<u>14</u>
	1. 主な適用環境関連法規等 2. 違反、訴訟等の有無							<u>14</u> <u>14</u>
VII.	代表者による全体評価と見直しの結果							<u>14</u>

## I. 会社概要と対象範囲

#### 1. 会社概要

1) 名称および代表者名 進興金属工業株式会社 代表取締役社長 志水 嘉津彦

2)所在地

本社•工場 愛知県みよし市莇生町辰己山102

3)環境管理責任者および担当者の連絡先

TEL: 0561-36-8883 管理責任者 品質保証課長 田中 俊行

及び連絡先 E-MAIL: t.tanaka@e-shinko.co.jp

担当者 同上

4)事業内容 ・金属部品の精密機械加工及び組立

・液化石油ガス用ガス放出防止器の設計及び製造

5) 事業規模 (2024年 4月期)

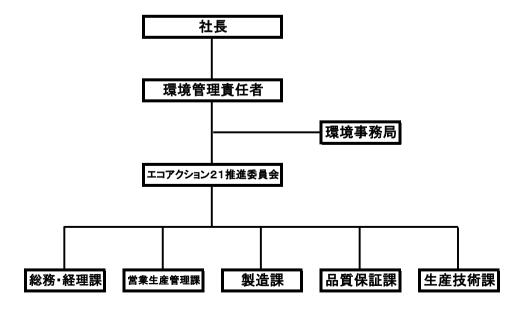
資本金 24百万円 売上高 484百万円

規模	本社
従業員	45 名
庆而精(延べ)	3.367.7 m <sup>2</sup>

※うちパート社員・契約社員 15名を含む

(2025年8月1日現在)

- 6)事業年度 5月1日~4月30日
- 7)推進体制表



## I. 会社概要と対象範囲

#### 7)役割と責任権限

	役 割・責 任・権 限				
	・環境経営の統括責任者				
	・経営資源(人員・設備・費用)の準備				
小 <b>主 夬 (                                 </b>	・環境方針の策定				
代表者(社長)	・環境管理責任者を任命				
	・代表者による全体の評価と見直しを実施				
	・環境活動レポートの承認				
	・環境経営システムの構築、実施、管理の責任者				
	・環境目標・環境活動計画の承認				
環境管理責任者	・環境活動の管理状況(実施状況と結果)を代表者へ報告				
	・全社員への周知、教育と訓練				
	・環境活動レポートの作成責任者				
	・環境管理責任者の補佐				
	・EA21推進委員会の定期開催とその事務局				
	・環境負荷及び環境への取組の自己チェックの実施				
理控束数尺	・環境目標、環境活動計画書原案の作成				
環境事務局 (EA21推進委員会)	・環境活動のデータ収集と実績まとめ				
	・環境関連法規等取りまとめと遵守状況のチェック				
	・環境管理文書・記録の作成と保管				
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口				
	・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)				
	・環境経営システムの実施(自部門内・・・以下同じ)				
	・従業員への環境方針の周知				
	・環境活動のデーター収集と入力				
· 部門長•管理職	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告				
	・手順書作成及び運用管理				
	・緊急事態への対応のための手順書作成				
	・教育・訓練実施、、記録の作成				
	・問題点の発見、是正、予防処置の実施				
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚				
	・自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境活動へ参加				

#### 2. 認証・登録の対象範囲

1)サイト 全社、全事業を対象

2) 事業内容・金属部品の精密機械加工及び組立

3)従業員 45

4)環境活動レポートの対象期間

①当期の活動期間: 2024年5月1日~2025年4月30日②次期の活動期間: 2025年5月1日~2026年4月30日・次期の環境活動レポートの作成 2026年8月(予定)

## 環境方針

環境経営方針

進興金属工業株式会社

#### 〈環境理念〉

当社は、金属部品の切削加工及び組み立ての事業活動において 地球環境保全が人類共通の重要課題である事を重要視し 環境経営システムを構築、運用及び、地域とのコミュニケーションを大切にし 『人と地球にやさしい』生産体制に取り組むことを推進します。

#### <行動指針>

- 1 環境関連法規制や当社が約束した要求事項を遵守します。
- 2 経営に関わる課題は、事業と環境との関りを考慮しチャンスと捉え「環境目標・環境活動計画」を定め実施事項は以下の5項目とする。
  - (1) 省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します
  - ② 分別の徹底・リサイクルの推進に努め産業廃棄物排出量を削減します
  - ③ 節水に努め総排出量を削減します
  - ④ グリーン購入及び社内リサイクルを推進します
  - 製造工程の改善を行い、環境にやさしい工程を目指します。
- 3 本理念、方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的な改善を推進します。

制定日 2013年 12月 24日 改訂日 2020年 5月 21日 進興金属工業株式会社

代表取締役 社長

长水嘉豫

## Ⅲ. 環境目標

環境方針に定めた事項につき、基準値を定め次のとおり中期目標及び年次別目標を設定し取組みます。

			基準値		年 次	目標	
		単 位	(2024/5月~	<b>2025年度</b> (2025/5月~	<b>2026年度</b> (2026/5月~	<b>2027年度</b> (2027/5月~	<b>2028年度</b> (2028/5月~
			2025/4月)	2026/4月)	2027/4月)	2028/4月)	2029/4月)
=	電力使用量の削減	削減率%	_	1%	2%	3%	4%
酸	电力使用重切削减	(kWh/百万円)	1,000	990	980	970	960
化	ガソリン使用量の削減	削減率%	_	1%	2%	3%	4%
炭	カプル民用重Unik	(ℓ/百万円)	2.88	2.85	2.82	2.79	2.76
素排	軽油使用量の削減	削減率%	_	1%	2%	3%	4%
排	在加及用重07月%	(ℓ/百万円)	9.40	9.31	9.21	9.12	9.02
벌	灯油使用量の削減	削減率%	_	1%	2%	3%	4%
重	ガル区川重い門城	(ℓ/百万円)	5.46	5.41	5.35	5.30	5.24
		削減率%	_	1.0%	2.0%	3.0%	4.0%
	排出量合計	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	447.9	443.4	438.9	434.5	430.0
		(kg-CO <sub>2</sub> /年)	216,554	_	_	_	_
_	般廃棄物排出量の削減	削減率%	_	1%	2%	3%	4%
	成先来1979F田重切F1785	(kg)	3,105	3,074	3,043	3,012	2,981
産	業廃棄物の削減	削減率%		1%	2%	3%	4%
<u></u>	*100 × 100 × 101 100	(kg)	18,065	17,884	17,704	17,523	17,342
L	水使用量の削減	削減率%		1%	2%	3%	4%
	小区川重の円線	(m³)	484	479	474	469	465
げ	リーン購入率の向上	向上率	基準値	維持	維持	維持	維持
		(目標%)	56.8%	56.8%	56.8%	56.8%	56.8%
II	程改善活動の推進	削減率		15%減	20%減	25%減	30%減
(僧	理項目 不良廃却率の削減)	(%)	0.66%	0.56%	0.53%	0.50%	0.46%

注) 1. 化学物質は、1t以上の使用がなく、約3%と少量使用のため削減目標を設定せず、使用量の管理を行います。

## Ⅳ. 環境活動計画

環境目標を達成するために、次の活動計画に取組みます。

	環境目標	活動計画・達成手段(実施部門・責任者)	担当部署
二酸化炭		<ul><li>① コンプレッサーの省エネ機種への変更</li><li>② 休憩中の余分な電気の消灯</li><li>③ 空調の温度設定(夏季:28℃ 冬季:20℃)</li><li>④ 空調のフィルター清掃(3月)</li><li>⑤ 蛍光灯からLEDへの変更</li></ul>	製造課 " 総務経理課 " "
素排出量削減	がソリン使用量の削減 (2023年目標:3%) 軽油使用量の削減 (2023年日標:3%)	<ul><li>① アイドリングストップ</li><li>② 急発進、急加速の禁止</li><li>③ タイヤ空気圧の確認(給油時)</li><li>④ 不要な荷物をのせない</li><li>⑤ 納品車両の燃費管理</li><li>⑥ 納品車両の更新時、低排出ガス車への切替</li></ul>	営業生産管理課 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "
<del>-</del> ;	灯油使用量の削減 (2023年目標:3%) 般廃棄物排出量の削減 (2023年目標:3%)	<ul><li>① 暖房使用時の温度設定(暖房)</li><li>① 配布資料のPDFによるメール配信、SNSによる配信</li><li>② 一般廃棄物の分別</li></ul>	製造課 総務経理課 品質保証課
	業廃棄物の削減 (2023年目標:3%) 水使用量の削減 (2023年目標:3%)	③ コピー用紙の両面印刷の推進 ① 産業廃棄物の分別 ① 上水使用量の監視・確認 ② 節水表示をし意識向上	総務経理課製造課総務経理課総務経理課パ
(	リーン購入率の向上 2023年目標: 60.8%維持) 程改善活動の推進	<ol> <li>購入時エコ商品選択</li> <li>不良損失金額の低減(率)</li> </ol>	総務経理課製造課

またねじ止め剤は客先指定であり、含有する化学物質もごく少量の為削減目標はもちません。 灯油に含有する化学物質は二酸化炭素低減にて活動を進めています。 2. 購入電力調整後排出係数:中部電力株式会社(2022年度) 0.459(kg-CO2/kWh)を使用しております。

### V. 環境目標 活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1. 環境目標・環境活動計画の実績

環境目標及び環境活動計画に従って全員で当期間運用・実施した結果は、下表のとおりです。

		出任	基準値	期間	(2023/5月~ 2024	1/4月)		
		単位	(2020年実績)	目標	実 績	達成度	評価	
	電力使用量の削減	kWh/	1 170	4.0%削減	14.7 %削減	112.6%	0	
	电力使用里の削減	百万円	1,172	1,125	1,000	112.0%		
_	ガソリン使用量の削減	Q/	2.9	4.0%削減	1.0 %削減	97.0%	Δ	
酸	カプラン使用里の削減	百万円		2.79	2.9	97.070	Δ	
化出	軽油使用量の削減	Q/	9.2	4.0%削減	-2.0 %増加	94.2%	Δ	
炭素		百万円	9.2	8.85	9.4	94.270	Δ	
排	灯油使用量の削減	Q/	4.6	4.0%削減	-19.3 %増加	80.5%	×	
出	別油製用重の削減	百万円	4.0	4.4	5.5	00.5%		
量	排出量合計	kg-CO2/	430.8	4.0%削減	-4.0 %増加	92.3%	Δ	
		百万円		413.6	447.9	92.370		
		kg-CO2/ 年	228,816		216,554	約5.4%減	_	
廃棄			2.433	4.0%削減	-27.6 %増加	75.2%	×	
物	一般廃棄物排出量の削減	kg	2,433	2,336	3,105	73.2/0	^	
排出	産業廃棄物の削減	Lean	29,886	4.0%削減	39.6 %削減	158.8%	0	
量	生未廃果初の削減	kg	29,000	28,691	18,065	130.0%	0	
<b>∟</b> - <i>レ1</i>	上北井田島の地域		652	4.0%削減	25.8 %削減	129.3%	0	
上水使用量の削減		m³	002	626	484	129.3%	0	
グリーン購入率の向上		%	60.8%	維持	_	93.4%	Δ	
2 · ) -	りリーン購入率の同上		00.670	60.8%	56.8%	33.470		
工程改	工程改善活動の推進(不良廃棄率)		1.0%	0.69%	0.66%	104.5%	0	

<sup>\*</sup> 化学物質の使用量を監視した結果、指定量以上の使用はありませんでした。

(指定量・・・PRTR法における年間取扱量届出対象1t/年で弊社では約3%の使用量になります)

△:90%以上~100%未満 ×:90%未満

<sup>\*「</sup>グリーン購入率の向上」「工程改善活動の推進」の基準値は前年同期です。

<sup>※</sup>評価の基準:達成度(削減目標=目標/実績、増加目標=実績/目標)により評価(以下同)。

<sup>◎: 120%</sup>以上 ○: 100%以上~120%未満 △: 90%以上~100

<sup>※</sup>表示数値は、管理ソフト(自動計算、端数処理(原則表示単位未満四捨五入))によっており、手計算結果と 若干の差異が 出る場合があります。

- 2. 取組結果の評価と次年度の取組み
- •本年度の取組結果は、下記の様になっております。

「化学物質使用量」については対象となる物質及び使用量を把握しております。PRTR法における年間取扱量の届け出対象となる1t/年に対して約3%程度の使用量でした。

・2024年度は2020年度を基準とし目標値の見直しを行い活動を進めています。

また、次年度への取り組みは各項目の「活動計画」の「次年度の取組」の内容にて活動を進めて行きます。

# 目標に対する達成度 ① ・・・120%以上 ○ ・・・100%以上~120%未満 △ ・・・90%以上~100%未満 × ・・・90%未満

	電力使用量の削減						
	(単位:KWh/i	5万円)					
	2023 目標	1,137					
	2023 実績	982					
ح	2024 目標	1,125					
実	2024 実績	1,000					
看							
小貝	達成度	113%					
	評価	0					



(単位:kWh/百万円)

	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント	
	①コンプレッサーの省エネ機種への変更	製造課	継続		
×	②休憩中の余分な電気の消灯	表坦味	継続	CO₂排出量の大半を占める電力について は、今年度は大きな活動はありませんで	
活動計			継続	したが、来期に向け社長指示によりエ アー漏れ点検の強化を決定。	
画	④空調のフィルター清掃(3月)	総務経理課	総務経理課		来期からは大型連休明けの定期確認を 行いチェックリストにまとめ継続的な漏れ
	⑤蛍光灯からLED照明への変更		継続	対策を実施し、省エネルギー活動を展開 します。	

#### 【改善事例】



《太陽光発電の開始》 太陽光発電によりCO2排出 低減



#### 進興金属工業(株) 省エネ活動 電気設備について 冷暖房設備について --------マンドのピークカットの為エアコンを消す時間 お昼等の休憩時間、会議・打合せ等で席を 事務所・品証課・3課 離れるときは、消灯しましょう。 9:00~9:30 ● 扇風機 ・ 電気ストープも離席時は電源を 11:30~12:00 12:50~13:20 切りましょう。 デマンド値オーバーの連絡があったときは、 事務所・品証課・3課は15分程度、冷暖房 設備の電源を切って下さい。 → 冷暖房設備の設定温度について 冬 20℃ ウォームビズ推奨 夏 28℃ クールピズ推奨 コ&省エネ活動に、ご理解ご協力をお願いします。

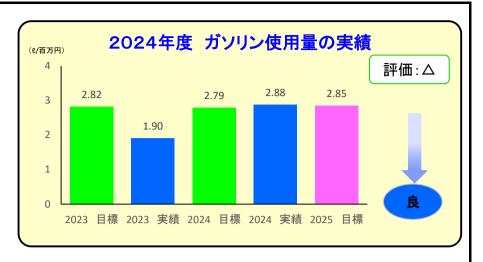
#### ≪エアー漏れチェック≫

エアー漏れチェクを行い、改善を進める ことでコンプレッサーのムダな電気使用の 削減を進める。

#### ≪空調の温度設定≫

作業環境に影響の無いよう、使用時間の設定を行いムダな電気使用量を削減。

7	ガソリン使用量の削減							
	(単位:ℓ/亩	5万円)						
B	2023 目標	2.82						
標	2023 実績	1.90						
ほと	2024 目標	2.79						
実	2024 実績	2.88						
績								
小貝	達成度	97%						
	評価	Δ						



(単位: ℓ/百万円)

	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント	
	①アイドリングストップ		継続		
***	②急発進、急加速の禁止		継続	設備の立ち合いや移動準備などで遠方へ の移動が多く重なり突発的なガソリンの使	
活動計		営業生産 管理課 -	継続	の参勤が多く重なり失光的なガブリンの使用量が増えてしまった事で目標未達となってしまいました。	
画	④不要な荷物をのせない			継続	アイドリングストップや空気圧管理などの 省エネ活動は継続実施しており、今後も
	⑤納品車両の燃費管理		継続	看エイル からに	
	⑥納品車両の更新時、低排出ガス車への切替	総務経理課	継続		

#### 【改善事例】

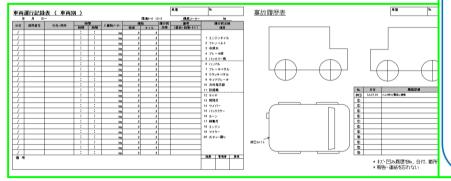


≪社用車の低排出ガス車への切り替え≫ タウンエースからカローラツーリング(ハイブリッド)のを低燃費車へ買い換え。

> 《運転の10箇条による意識づけ》 社用車へ10箇条を運転前に確認できるよう掲示し運転者の意識づけを図る。

#### ≪燃費管理≫

「車両運行記録表」にて記録をとり毎月の 燃費管理を実施。



#### 進興金属運転10箇条

- 1 ふんわりアクセル
- 2 車間距離にゆとりを持って加速・減速の少ない運転
- 3 減速時は早めにアクセルを離そう
- 4 エアコンの使用は適切に
- 5 ムダなアイドリングはやめよう
- 6 渋滞を避け余裕をもって出発しよう
- 7 タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 8 不要な荷物はおろそう
- 9 走行の妨げになる駐車はやめよう
- 10 自分の燃費を把握しよう

	軽油使用量の削減						
(単位:2/百万円							
	2023 目標	8.94					
標	2023 実績	8.90					
1示 と	2024 目標	8.85					
宝	2024 実績	9.40					
夫							
<b>祁</b> 貝	達成度	94%					
	評価	Δ					



(単位: ℓ/百万円)

	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント	
	①アイドリングストップ		継続	軽油の実使用量に大きな変動はなく、ア	
活	②急発進、急加速の禁止		継続	イドリングストップや配送ルートの見直しなどの省エネ活動も継続されていました。	
動計	③タイヤ空気圧の確認(給油時)	営業生産 管理課			原単位の悪化は売上の減少が主な要因 であり、活動自体に大きな課題は認めら
	④不要な荷物をのせない		継続	れませんでした。	
	⑤納品車両の燃費管理		継続	2025年度は、現状に即した基準年と目標 値を設定し、実態に合った形で引き続き	
	⑥納品車両の更新時、低排出ガス車への切 替	総務経理課	継続	改善活動を推進します。	

#### 【改善事例】



≪社用車の低排出ガス車への切り替え≫ ハイエースを更新の際、低燃費車へ買い

#### ≪運転の10箇条による意識づけ≫

社用車へ10箇条を運転前に確認できる よう掲示し運転者の意識づけを図る。

#### <u>≪燃費管理≫</u>

「車両運行記録表」にて記録をとり毎月の 燃費管理を実施。



#### 進興金属運転10箇条

- 1 ふんわりアクセル
- 2 車間距離にゆとりを持って加速・減速の少ない運転
- 3 減速時は早めにアクセルを離そう
- 4 エアコンの使用は適切に
- 5 ムダなアイドリングはやめよう
- 6 渋滞を避け余裕をもって出発しよう
- 6 渋滞を避け余裕をもって出発しよう 7 タイヤの空気圧から始める点様・整備
- 8 不要な荷物はおろそう
- 9 走行の妨げになる駐車はやめよう
- 10 自分の燃費を把握しよう

	灯油使用量の				
	(単位:ℓ/亩	5万円)			
目	2023 目標	4.47			
標	2023 実績	5.40			
たと	2024 目標	4.43			
実	2024 実績	5.46			
看					
小貝	達成度	81%			
	評価	×			



(単位: ℓ/百万円)

<b>+</b>	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
<b>沽動計</b>	① 暖房使用時の温度設定(暖房)	製造課		灯油の使用量は概ね例年並みでしたが、 軽油同様に売上減少により原単位が悪
画		表但杯		化。 来期は基準年の見直しに加え、現場での

#### 【改善事例】



≪3Fへ冷暖房を導入しジェットヒーターの廃止≫ 3Fの3課組付けにて冷暖房(電気)を新規で導入し、ジェットヒーターを廃止し灯油の使用量低減。





<u>≪灯油ストーブから電気ストーブへの変更≫</u>

灯油ストーブからの火災の危険性を考え電気ストーブへ変更し灯油使用量の低減

一般廃棄物排出量の削減					
	(単	.位:kg)			
目	2023 目標	2,360			
世	2023 実績	2,749			
伝し	2024 目標	2,336			
と実	2024 実績	3,105			
表績					
限	達成度	86%			
	評価	×			



(単位:kg)

	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
活動		総務経理課	1,200	社内の「ちょっと活動」による2Sが活発に
計画	②一般廃棄物の分別	品質保証課	継続	進んだ事もあり廃棄量が増えてしまいましたが、後半は排出量も落ち着きました。
	③コピー用紙の両面印刷の推進	総務経理課		たが、仮干は併山里で浴り相さよした。

#### 【改善事例】



≪リサイクルごみの分別≫

焼却ごみをリサイクルにするため分別回収を実施。

<u>≪リサイクルごみの分別≫</u> 引取り業者への置き場の分別を開始。

#### 一般ゴミ置き場をリニューアルしました







- リサイクル 段ボール 用紙 燃えるごみ
- ① 生ごみ、燃えるごみの飛散防止の為、回収ボックスを変更。
- ② リサイクルごみの置き場を新設。

産業廃棄物排出量の削減				
	(単	.位:kg)		
目	2023 目標	28,989		
標	2023 実績	19,401		
伝し	2024 目標	28,691		
宝	2024 実績	18,065		
奏績				
禎	達成度	159%		
	評価	0		



(単位:kg)

	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
活動	①産業廃棄物の分別	製造課	継続	廃油の排出量は品質を保つために大きな
動計画				低減活動は出来なかったが、廃プラス チックの排出量を約75%低減することが
				できました。

#### 【改善事例】





#### ≪産業廃棄物の分別≫

あいまいだった廃棄の種類を明確に変更し識別表示 を付け廃棄する様変更。

	上水使用量の削減				
	(単	·位:㎡)			
目	2023 目標	632			
垣	2023 実績	555			
ケント	2024 目標	624			
宇	2024 実績	484			
人績					
小貝	達成度	129%			
	評価	0			



(単位:m³)

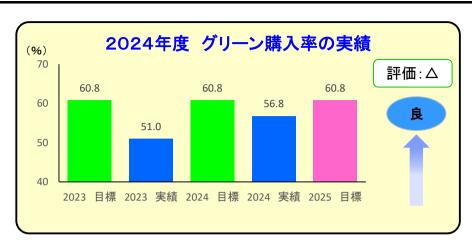
	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント	
活動	① 上水使用量の監視・確認	- 総務経理課	一総務経理課	継続	
動計画	③ 節水表示をし、意識向上			継続	目標を達成することが出来ました。

### 【改善事例】



<u>≪意識向上のための節水表示</u>≫ 節水を意識するための表示を手洗 い場など水を使用する場所へ表示

グリーン購入率の向上				
		位:%)		
目	2023 目標	60.8		
標	2023 実績	51.0		
<b>L</b>	2024 目標	60.8		
実	2024 実績	56.8		
人績				
小貝	達成度	93%		
	評価	Δ		



(単位:%)

	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
活動	① 購入時工コ商品選択	総務経理課	継続	目標は未達でしたが、引き続き購入時に
動計画				可能なかぎりエコ商品選択するようにしま
I				9 0





(単位:%)

	項目	担当	次年度の取組	評価とコメント
活動	不良損失金額の低減	製造課	継続	工程内不良低減活動を通じ、ムダな電気や資
計画				材の使用削減を進めています。 来年度は自社内だけでなく、顧客など社会的
				な環境負荷削減になる活動を進めます。

## VI. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1. 主な適用環境関連法規等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

廃棄物の適正な処理の促進に関する条例(愛知県)

騒音規制法 振動規制法

水質汚濁防止法

県民の生活環境の保全等に関する条例(愛知県)

資源の有効な利用の促進に関する法律

特定家庭用機器再商品化法

使用済自動車の再資源化等に関する法律

使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律

公害防止協定書(みよし市)

フロン排出抑制法

上記環境関連法・協定については、遵守状況チェックシートにより確認した結果法令違反はありませんでした。(2025年1月31日実施)

#### 2. 違反、訴訟等の有無

関係行政機関からの指摘・指導はなく、近隣からの苦情や訴訟もエコアクション21の取り込み時からはありません。

#### Ⅲ. 代表者による全体評価と見直しの結果 (2025.8)

売り上げ的に非常に厳しい一年となった中で、各部署で生産不良低減活動や修繕費や消耗 品の削減なども行ってもらい、その結果が現れた一年になったと思う。

気候変動による夏場の暑さはこれからも続くので、節約はナカナカ難しいと思うが空調服などで来年以降対策をこういて生きたいと考えています。

営業活動の増加により燃料の使用量も上がりつつある昨今でしたがより効率のいい活動を追求しながら、売り上げアップも目指していきましょう。

我が社にとっての地球環境の改善は、我々の本業である ものづくりを効率的に行う事が必要 不可欠であることを再認識し、新規の立ち上げ等行ってください。

特に昨年学んだ エアー漏れのチェックに対しては長い目で見れば大きな効果を生み出します。 宜しくお願い致します。